

## プログラム

専門医機構単位【日産婦参加】

※本学会では、日本専門医機構の、共通(倫理)、産婦人科(参加、領域)単位が取得可能です。

1日目

日時

2019年2月9日(土) 11:45~17:15 (受付 11:00~)

会場

じゅうろくプラザ 大会議室(5F) 受付:5F

11:45-12:45	<p>■&lt;MSD(株)共催&gt;ランチョンセミナー「がんと妊娠」※単位【産婦人科領域講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●座長:鈴木 直(聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授)</li> <li>がんになっても母になりたい ●演者:御船 美絵(若年性乳がんサポートコミュニティPink Ring 代表)</li> <li>子宮頸がんの現状と予防~AYA世代に伝えなければいけないこと~ ●演者:戸澤 晃子(聖マリアンナ医科大学東横病院婦人科部長、准教授)</li> </ul>
12:45-13:00	休憩
13:00-13:05	■開会ご挨拶 ●森重 健一郎(岐阜大学医学部 産婦人科 教授)
13:05-15:00	<p>■Oncofertility Consortium Japan Meeting</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●司会:古井 辰郎(岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学分野 臨床教授)、河合 由紀(滋賀医科大学 乳腺・一般外科 助教)</li> <li>OFC Japanについて ●演者:古井 辰郎(岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学分野 臨床教授)</li> <li>宮城県がん・生殖医療ネットワークの現状と課題 ●演者:立花 真仁(東北大学病院 産科講師)</li> <li>乳がん患者の生殖医療連携に関する現状と課題 ●演者:吉村 章代(愛知県がんセンター中央病院 乳腺科 医長)</li> <li>がん患者の妊孕性支援における看護師の役割 妊孕性温存治療の先に見えるもの ●演者:渡邊 知映(上智大学総合人間科学部 看護学科 准教授)</li> <li>がん・生殖医療における薬剤師の役割 ●演者:米村 雅人(国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門安全管理室長)</li> <li>岐阜大学病院における医療連携についてー心理士の立場からー ●演者:伊藤 由夏(岐阜大学附属病院 周産期・生殖医療センター 臨床心理士)</li> <li>総評と今後の展望 ●演者:鈴木 直(聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授)</li> </ul>
15:00-15:15	休憩
15:15-17:15	<p>■周産期委員会企画シンポジウム「がんサバイバーの妊娠・出産・育児」※単位【産婦人科領域講習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●座長:細井 創(京都府立医科大学 副学長/小児科学 教授)、杉山 隆(愛媛大学医学部 産科婦人科学 教授)</li> <li>第一部 がん治療後の妊娠・出産を目指して~患者の立場から~ ●演者:御船 美絵(若年性乳がんサポートコミュニティPink Ring 代表)</li> <li>がんサバイバーの妊娠・出産 ●演者:池田 智明(三重大学医学部 産婦人科 教授)</li> <li>本邦におけるがんサバイバーの妊娠出産の実態—AMED研究班の調査結果より— ●演者:原田 美由紀(東京大学医学部附属病院女性診療科・産科 講師)</li> <li>質疑応答</li> <li>第二部 卵子胚凍結後のがんサバイバーと生殖専門医とのかわり ●演者:詠田 由美(アイブイエフ詠田クリニック 院長)</li> <li>周産期から見たがん・生殖医療 ●演者:志賀 友美(岐阜大学医学部附属病院成育医療科・女性科 臨床講師)</li> <li>質疑応答</li> <li>総合討論</li> </ul>

2日目

日時

2019年2月10日(日) 9:00~17:30 (受付 8:30~)

会場

じゅうろくプラザ ホール(2F) 受付:5F

9:00-9:20	<p>■基調講演「がんサバイバーが子どもをもつこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●演者:吉村 泰典(内閣官房参与/慶應義塾大学 名誉教授) ●座長:鈴木 直(聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授)</li> </ul>
9:20-11:15	<p>■ワークショップ「がん・生殖医療に関するがん治療現場の期待と懸念」※単位【共通講習(必修)医療倫理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●座長:二村 学(岐阜大学大学院 医学系研究科 腫瘍外科学分野 臨床教授)、桑原 章(徳島大学医学部 産婦人科 准教授)</li> <li>小児患者として自分のための意志決定、そして次世代の子どものための意志決定を支える ●演者:小澤 美和(聖路加国際病院 小児科 医長)</li> <li>茨城県におけるがん治療前精子凍結保存~泌尿器科医は妊孕性温存治療をどう捉えているのか?~ ●演者:山崎 一恭(筑波学園病院 泌尿器科 医長)</li> <li>乳腺診療におけるがん・生殖医療の次の一歩は? ●演者:清水 千佳子(国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科医長/診療科長)</li> <li>造血器腫瘍における妊孕性温存の現状と課題 ●演者:兼村 信宏(岐阜大学医学部附属病院 血液内科 講師)</li> <li>がん・生殖医療におけるELSIについて ●演者:塚田 敬義(岐阜大学大学院医学系倫理・社会医学分野 教授)</li> <li>総合討論 ●指定発言:前沢 忠志(三重大学医学部 産科婦人科 助教)</li> </ul>
11:15-11:20	休憩
11:20-11:50	<p>■教育講演「AYA世代のがん対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●演者:堀部 敬三(国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長) ●座長:森重 健一郎(岐阜大学医学部 産婦人科 教授)</li> </ul>
11:50-12:00	休憩
12:00-13:00	<p>■&lt;中外製薬(株)共催&gt;ランチョンセミナー「男性がん患者に対する妊孕性温存一地域ネットワークの利活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●演者:西山 博之(筑波大学医学部 腎泌尿器外科 教授) ●座長:岡田 弘(獨協医科大学埼玉医療センター 病院長/泌尿器科主任教授)</li> </ul>
13:00-13:10	休憩
13:10-14:10	<p>■シンポジウム「妊孕性温存における登録制度・助成金制度の方向性」※単位【共通講習(必修)医療倫理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●座長:大須賀 稜(東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授)、村上 節(滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 教授)</li> <li>滋賀県での助成状況と課題 ●演者:木村 文則(滋賀医科大学産科学婦人科学講座 准教授)</li> <li>妊孕性温存における登録制度・助成金制度の方向性 ●演者:高井 泰(埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授)</li> <li>岐阜県がん患者生殖機能温存治療費助成事業について ●演者:森岡 久尚(岐阜県健康福祉部長)</li> </ul>
14:10-15:10	<p>■フェリング・ファーマセミナー「生殖医療の最先端と近未来」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●座長:森本 義晴(HORACグランフロント大阪クリニック 院長)、細井 創(京都府立医科大学 副学長/小児科学 教授)</li> <li>核移植が切り開く近未来のART ●演者:立花 真仁(東北大学病院 産科講師)</li> <li>ヒト生殖細胞試験管内誘導研究の現状と展望 ●演者:斎藤 通紀(京都大学大学院医学研究科 教授)</li> </ul>
15:10-15:20	休憩
15:20-15:50	■ポスターディスカッション
15:50-16:00	休憩
16:00-16:30	<p>■OFC Japan企画「がん・生殖医療におけるオンライン診療の可能性」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●演者:川井 清考(亀田総合病院 生殖医療科 部長) ●座長:高井 泰(埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授)</li> </ul>
16:30-17:10	■優秀演題 発表(3題) ●座長:柴原 浩章(兵庫医科大学 産科婦人科 主任教授)、梶山 広明(名古屋大学大学院 医学系研究科 産婦人科 准教授)
17:10-17:20	■表彰式
17:20-17:30	■閉会式

年次総会

日時

2019年2月10日(日) 17:30~18:30